

## 狛江駅周辺まちづくり方針(案)

---

## 第1章:まちづくり方針とは

- 1.1 背景と目的
- 1.2 まちづくり方針の位置づけ
- 1.3 対象範囲と目標年次
- 1.4 検討過程

## 第2章:狛江駅周辺の特徴と今後の視点

- 2.1 狛江駅周辺の特徴整理
- 2.2 狛江駅周辺の特徴と社会の変化
- 2.3 狛江駅周辺の今後の視点

## 第3章:まちの将来像とまちづくりの方向性

- 3.1 まちの将来像とまちづくりの方向性
- 3.2 新たなライフスタイルのイメージ

## 第4章:取組方針

- 4.1 取組方針

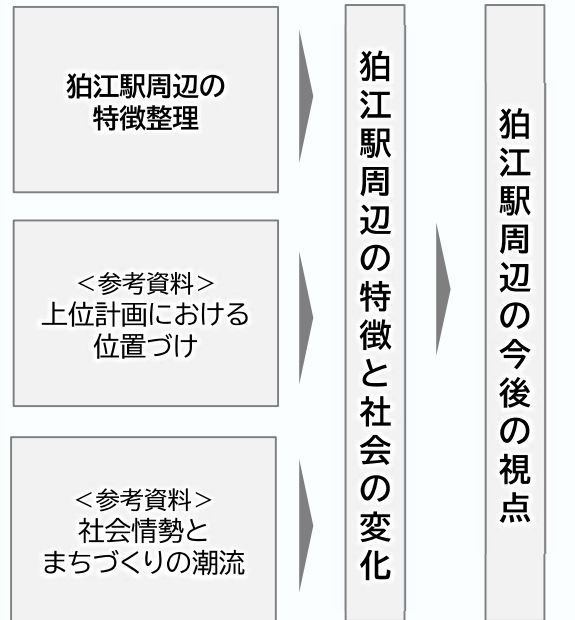
# まちづくり方針の構成

## 1章

【まちづくり方針とは】

## 2章

【狛江駅周辺の特徴と今後の視点】



市民意見聴取

## 3章

### セカンドリビングのあるまち

【まちの将来像】

【まちづくりの方向性】

#### からだで感じるまち

歩きやすい環境が整っている  
外に繰り出したくなる  
気軽に体を動かせる  
気付くと健康を意識できている  
医療×○○で健康ライフが叶う  
つながりを感じられる  
体がうれしい食事が食べられる  
心が元気になる自然の空間がある

#### あそびがあるまち

新しい自分を見つけられる  
好きを極められる  
食べる楽しみを感じられる  
自然に触れる楽しみがある  
自分(ぼっち)時間が過ごせる  
交流が生まれる  
子どもの遊び場が充実している

#### つながるまち

スムーズな移動で便利になる  
まちなかに滞留できる空間がある  
道路空間の役割分担が明確  
充実した災害対策で安心できる  
充実した防犯対策で安心できる  
狛江の歴史が未来に紡がれる  
水と緑を感じられる  
テクノロジーで豊かになる

【新たなライフスタイルのイメージ】

## 4章

【取組方針】

平坦な地形を活かした、歩いて心地よい居場所で溢れる

コンパクトな市域をつなぐ、安全で円滑な交通環境がある

日常の風景に、豊かな自然や土地の記憶を感じる

多世代が愛着を持って住み続けられる、上質な住環境がある

暮らしを豊かにする多様な機能が集う

駅前にこのまち独自の営みが滲み出す

自然を感じ、賑わいが連続する南北一体のまちなみを描く

いざという時の市民の支えとなる場がある

手と手が届く距離感で、みんなでまちを育てる